

ゼビオカップ キッズサッカー 2021 フェスティバル

THE SUPER XEBIO SPORTS

写真館

フェスティバル模様は、岩手朝日テレビで 8 月 7 日(土)10:45～11:15 放送されます。

日 時: 2021 年 7 月 3 日(土)～4 日(日)
会 場: いわぎんスタジアム(盛岡南公園球技場)
主 催: 公益社団法人岩手県サッカー協会／公益財団法人盛岡市スポーツ協会
共 催: 株式会社岩手朝日テレビ
主 管: 公益社団法人岩手県サッカー協会 キッズ委員会
後 援: 岩手県教育委員会／盛岡市／財団法人岩手県体育協会
特別協賛: [ゼビオ株式会社](#)
協 力: ミズノ株式会社
大会ゲスト: 平瀬智行さん(元サッカー日本代表、現ベガルタ仙台クラブコーディネーター)
参加者総数: 596 名 (U-10 32 チーム 417 名、U-8 24 チーム 179 名)
運営スタッフ: ボランティアスタッフ高校生、チーム帯同審判、キッズ委員会キッズスタッフほか

1 日 目 ◆7 月 3 日 (土)

- ・U-10 の部 予選リーグ (8 人制ゲーム、32 チームを 8 グループ分け、グループ上位 1 チームが 2 日目の決勝トーナメントに進出) ＊4 部制に分けて実施、開会式なし

健康チェック(新型コロナウイルス感染予防対策を講じて実施)



U-10 試合の様子



2日目 ◆7月4日（日）

- ・U-10 の部 決勝トーナメント（各グループ予選リーグ 1 位チームの 8 チームによる）
- ・U-8 の部 リーグ戦（4 人制ゲーム、24 チーム）

U-10 決勝トーナメントの様子



U-8 試合の様子



U-10 表彰・閉会式の様子



●U-10 参加者チーム指導者から寄せられた主な意見・感想

- ・ベンチとピッチが遠すぎると感じました。個人的には会場内の BGM は不要かなと思います。
- ・来年も是非参加したいです。(黒北 SS)
- ・感染対策を徹底していたので、参加も安心でした。ただ、フェンス越しに見ている人も多かった中で、家族としては夫婦 2 人は感染対策を講じていれば観戦は良かったような感じもしました。
- ・素晴らしい環境を子供達のために準備していただき、ありがとうございました。
- ・参加した選手、保護者一同、結果はともかく大に楽しむことができたそうです。コロナ禍の中で感染対策を重視した結果の対応は完璧だったと思います。今回のコロナ対応を練習試合やリーグ戦など…いろいろと参考にさせていただきます。改めて今後ともよろしくお願いいたします。(一関南 FC)
- ・お世話になりました。コロナ禍の中でしたが開催していただけたことを感謝しています。観客を制限したり、メインスタンドなどを禁止するなど、しっかり対策されているのが伝わってきてよかったと思います。大会自体については、今回はグラウンド1面に対してコート2面での開催でしたが、コート外が広い分、ボールボーイがいらない遠くの方に何度もアウトボールになるとプレー時間が少し短くなってしまうような感じがしたので、試合時間を10分ハーフにするなど、通常とは変化があった方がよかったような気がしました。という負け惜しみです。ですが、昨年は中止となってしまう、コロナ禍での初めての開催ということもあり、関係者の方々には本当に大変だったことと思いますので、重ねてとはなりますが開催していただきまして本当にありがとうございました。(FC AOBA)
- ・感染対策が徹底されており、安心して子供たちにサッカー出来る環境を作ってもらってよかった。また、観戦者も感染対策が取れて安心して応援することができた。コロナ前では廊下に他の試合結果を張り出してもらっていたが、今回は応援者は全く分からなかった。SNS やメール等で結果が知ることができれば良いと思います。(盛岡イースト FC)
- ・月が丘児童センターの子ども達は週一、狭い園庭でボールが道路まで飛ばないように気にながら、空気を抜いたゴムボールでサッカーをしています。ゼビオカップは、本物のサッカーボールを蹴り、更に芝生でサッカーが出来たことに大変、満足したようです。ゼビオカップに参加したことにより子ども達が更にサッカーが好きになってくれることを願います。ありがとうございました。
- ・感染対策等をしっかりした上での開催本当にありがとうございました。子供達も親も安心して参加する事が出来ました。他のチームとの接触も少なく、スムーズな流れでした。今回準備をして頂き本当にありがとうございました。来年も是非参加したいと思いますのでよろしくお願いいたします。(前沢 Jr サッカースポーツ少年団)

●U-8 参加者チーム指導者から寄せられた主な意見・感想

- ・試合に出場出来ない子供達を別対応でゲームをやらせて頂き大変ありがとうございました。
- ・お世話になりました。U-8の部に参加した子供たちが本当に楽しそうにしていたので、参加して本当によかったと思いました。悪かった点というわけではありませんが、自チームだけでなく、他チームの子供たちも『もう終わり？もっとやりたかった』という声が非常に多かったです。それだけ楽しかったんだと思いますが、沿岸など遠方から来ているチームはなおさらそう思っているかもしれませんので、もう少し試合時間を長くしたり、試合数を増やすなど、スタッフの方々の負担が増えるなどと思いますが、そういった声もありましたのでご報告させていただきます。ありがとうございました。(FC AOBA)
- ・今回全ての試合が B コートだったが、どこから観戦しても見えづらく子供たちの声も聞こえなかった。練習コートが観戦席のそばにあるのではなく、中心において試合コートを観戦席のそばに置いてほしかったです。(盛岡イースト FC)
- ・もう少し早くピッチを解放して欲しかった。(30 分前～)

【2日間を終えて】.....

＜ボランティアスタッフ高校生のコメント＞

決勝の主審という大役を任せてられて本当に自分で大丈夫なのかと思ったけれど、アドバイスをもらって改善すべきところを改善し、選んでもらえたことに自信を持って試合を裁くことができ、試合後には「決勝にふさわしい審判でした」と言ってくれて嬉しかったです。

盛岡誠桜高等学校 3 年 兼平愛斗

二日間とても楽しむことができました。

初めは初対面の人が多い中コミュニケーションを取り合ってこの大会を進めていけるか不安でしたが、いざ始まってみると他の高校の生徒やスタッフとうまくコミュニケーションを取りノーマスで最後まで進めることができました。

サッカー面では転んでもすぐに立ち必死に楽しそうにボールを追いかける選手達をみて自分達も勝ちに拘りつつもサッカーを楽しむことが一番大事なのだと気づかせてくれました。

二日間ありがとうございました。

盛岡中央高校 3 年 水本爽太

今回のゼビオカップサッカーフェスティバルに参加して、初の 4 部開催でしたが、自分自身価値がある体験ができたと感じています。私は一度ニッソーサッカーフェスティバルの活動に参加し、流れを大体掴むことができていたため今回の受付などの運営もしっかりとこなしていくことができました。

また、今回ユース審判としても活動させていただきました。初めてやることであって何をどうすれば良いか分からず大変でした。しかし、審判団の皆さんにアドバイスを頂きながら、審判としての立ちまわり方を教えてもらいました。この時に自分自身のジャッジが審判として責任のある行動なのだと思います。

この活動は 0 を 1 に変えることができるものだと感じました。参加したから分かるものがあります。私はこの活動は是非とも岩手県内でサッカーをしている方々に参加して欲しいと強く感じています。

またこのような機会があれば参加させて頂きたいと思える良く充実した活動でした！改めて公益社団法人岩手県サッカー協会キッズ委員会の皆様本当にありがとうございました！！

盛岡市立高校 2 年 佐藤理

<フェスティバル責任者（佐藤洋充）のコメント>

昨年新型コロナウイルスの影響により開催できなかったゼビオカップ。いまだ感染が収まらない中でどのような形で開催するのが良いのか話し合い、これまでと異なったやり方で開催することにしました。

U10 は予選を 4 部制とし、参加チームを 64 チームから 32 チームへ、1 日かけて行っていた決勝トーナメントを午前中での開催。U8 は参加チームを 24 チーム、4 人制の試合。スタジアム両面を使用して開催と変更しました。保護者の観戦はサイド or バッグスタンドとし、人数制限も設けました。参加していただいた子供たち・指導者・保護者の皆様にはご不便等おかけしましたが、ご協力いただき終えることができました。ありがとうございます。

また、参加チームを減らしたことにより参加できなかった皆様、大変申し訳ありませんでした。この新型コロナウイルス感染症が収まり、また以前のように開催できるようになればと思います。

今回のゼビオカップは私たちにとってもチャレンジとなりました。今までと大きく流れが変わりました。そのような状況で活躍してくれたのが誠桜高校・盛岡市立高校・盛岡中央高校の生徒たちです。受付・コート・審判・場内アナウンス等、1 人が複数の業務をこなしてくれました。最後はコートに入り子供たちと一緒にサッカーをしてくれました。一緒にボールを蹴った子供たちからは笑顔があふれておりました。本当に素晴らしい高校生たちです。改めてキッズに関わる高校生の力を感じました。本当にありがとうございます。

参加した子供たちは U8・U10 とともに白熱した試合が行われました。子供たちにとっては一戦一戦が真剣勝負です。「勝てばうれしい」し「負ければ悔しい」。もちろん涙を流す子もいる。とても大切な感情です。一生懸命やったからこそ出てくる気持ちだと思います。そのような気持ちを私たち大人が大事にし、子供たちが楽しいサッカーを続けていける環境をつくっていかれると思います。お疲れ様でした。

最後にこの大会を開催するにあたりご尽力いただきました関係各社の皆さま、県協会スタッフの皆さま、高校生を快く送り出していただいた学校関係者の皆さま、高校生の皆さま心より感謝申し上げます。